

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和6年 5月 20日
都道府県知事 静岡県知事 殿		
提出者		
住所	静岡県富士市比奈760番地の1	
氏名	春日製紙工業株式会社	
	代表取締役 久保田 雅則	
電話番号	0545-34-1000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	春日製紙工業株式会社	
事業場の所在地	静岡県富士市比奈760番地の1	
計画期間	令和6年4月～令和7年3月	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	パルプ、紙、紙加工品製造業	
② 事業の規模	売上高 78億円	
③ 従業員数	135人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1, 2参照	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
別紙3, 4参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
①現状	【前年度（令和5年度）実績】														
	<table border="1"><thead><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>汚泥</th><th>廃プラスチック類</th><th>紙くず</th><th>金属くず</th><th>木くず</th><th>廃油</th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>41,750t</td><td>1,194t</td><td>363t</td><td>14t</td><td>8t</td><td>0t</td></tr></tbody></table>	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油	排出量	41,750t	1,194t	363t	14t	8t	0t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油								
	排出量	41,750t	1,194t	363t	14t	8t	0t								
(これまでに実施した取組) 工場内で廃棄物発生抑制に取り組んでいます。															
【目標】															
②計画	<table border="1"><thead><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>汚泥</th><th>廃プラスチック類</th><th>紙くず</th><th>金属くず</th><th>木くず</th><th>廃油</th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>40,000t</td><td>1,000t</td><td>350t</td><td>10t</td><td>7t</td><td>0t</td></tr></tbody></table>	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油	排出量	40,000t	1,000t	350t	10t	7t	0t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油								
	排出量	40,000t	1,000t	350t	10t	7t	0t								
	(今後実施する予定の取組) 今後とも工場内での廃棄物発生抑制に取り組みます。														

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物は種類ごとに各置場にて分類して保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状と同じように分類し保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6,338t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら焼却処分をして廃棄物の減容化を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	6,400t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら焼却処分をして廃棄物の減容化に取り組めます。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	36,202t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	29,783t	t
(これまでに実施した取組) 自ら熱回収を行った産業廃棄物残渣を土壌改良剤として再利用している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	36,000t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	29,000t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら熱回収を行った産業廃棄物残渣を土壌改良剤として再利用している。			

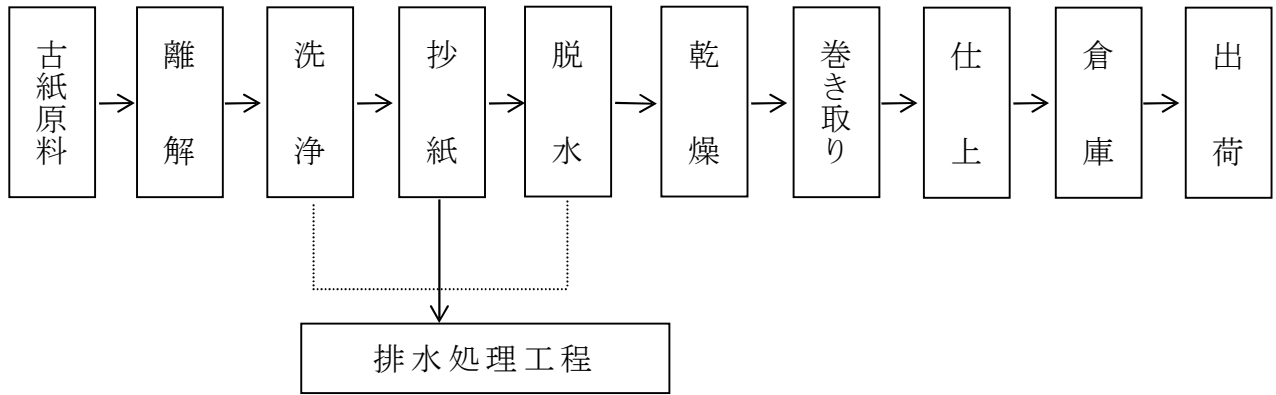
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	燃えがら	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	金属くず	木くず
	全処理委託量	83t	5,548t	1,194t	363t	14t	8t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	85t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	50t	150t	829t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	5,399t	362t	0t	0t	8t
(これまでに実施した取組) 工場内で廃棄物発生抑制に取り組んでいます。							

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	燃えが ら	汚泥	廃フラス チック類	紙くず	金属く ず	木くず
	全処理委託量	80t	5,000t	1,000t	350t	10t	5t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	80t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理 委託量	50t	150t	800t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処 理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	4,800t	350t	0t	0t	5t
	(今後実施する予定の取組) 工場内で廃棄物発生抑制に取り組んでいきます。						
※事務処理欄							

図 1 製造フローシート

【家庭紙系】



【特更紙系】

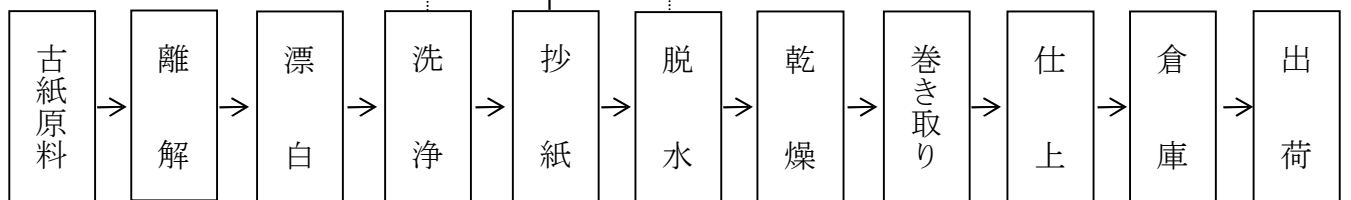


図 2 排水処理フローシート

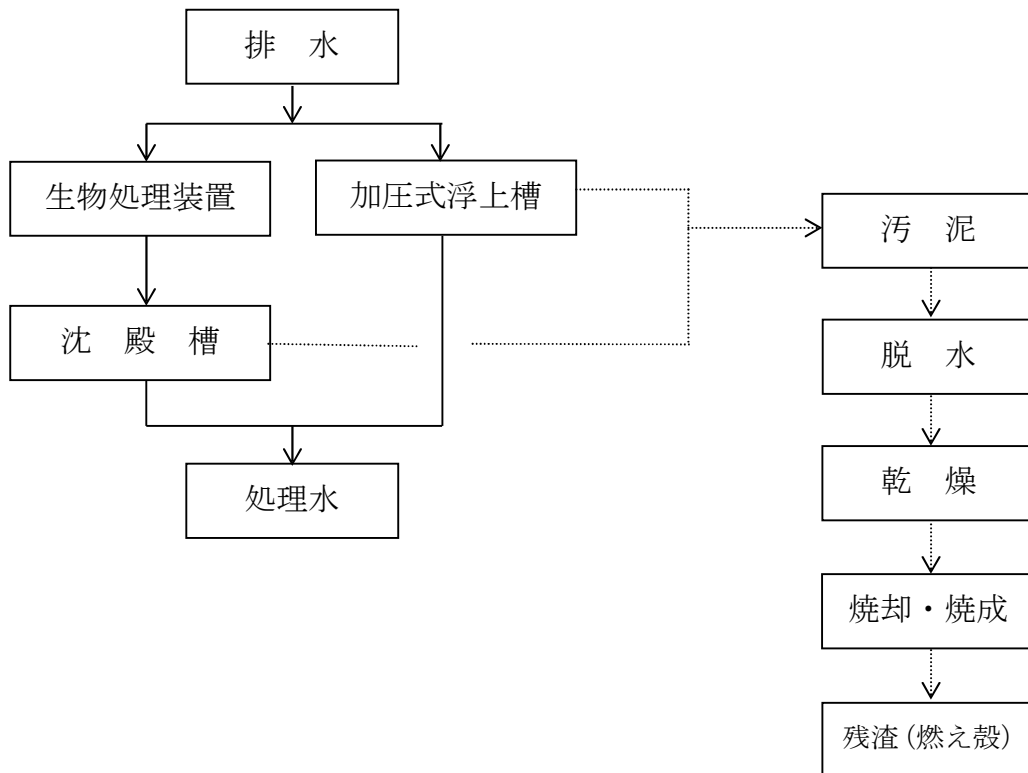
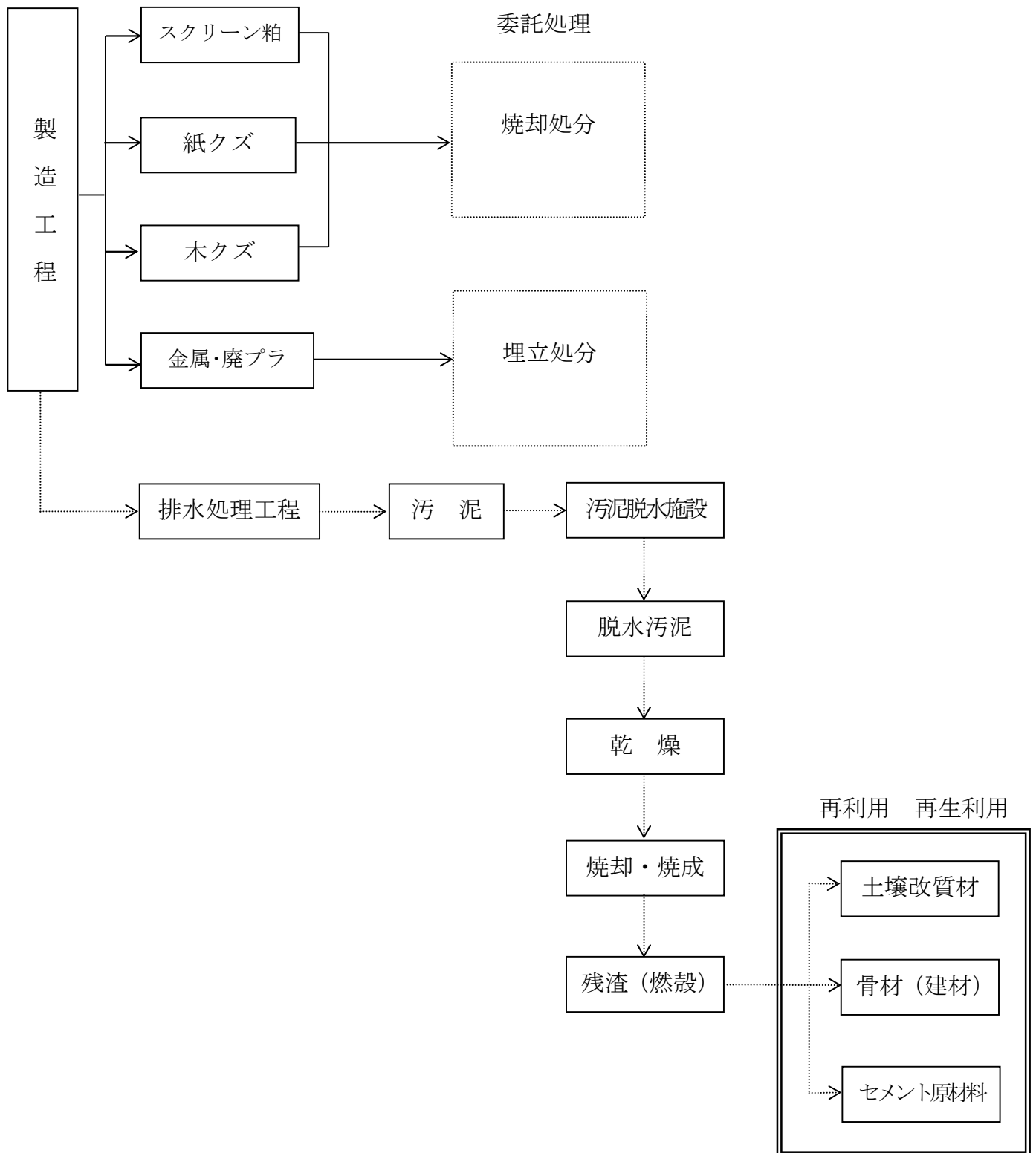


図4 廃棄物処理フローシート



別紙3

産業廃棄物の処理に係わる管理体制

(1) 責任者及び管理組織図

① 統括責任者：代表取締役社長 久保田 雅則

② 廃棄物担当： 環境動力課 庄 展秀 組織 人員：9名

③ 役割

・ 環境管理委員会：廃棄物処理に関する検討

廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。

委員長：工場長

委員：関連部署部課長

事務局：環境保全部環境保全課

・ 廃棄物処理統括責任者：廃棄物処理方針の策定

廃棄物管理規定の策定、改廃

廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

・ 廃棄物管理担当者：廃棄物処理計画の作成

廃棄物管理状況の把握と改善策の検討

産業廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握

処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理

委託契約の締結

産業廃棄物管理票の交付、管理

監督官庁への各種報告

社員、関連会社に対する教育、啓発

その他関係する事項

廃棄物管理組織

